

一、争議團の動靜

争議團ハ廣撥関東労働全盟會長田口龜藏ヲ佐  
頼シ會社側トノ交渉ヲ期待シ右田口ハ百入方會  
社側トノ會見ヲ實現スベク奔走セルニ會社側  
ハ當初ヨリ労働団体ノ排除ヲ期セル立場ヨリ  
飽迄デ田口トノ會見ヲ拒ケ全ク會見ノ望ナキ  
ニ至レルヨリ田口ハ去ルヤ日午後四時争議團  
本部ニ於テ集合シ居レルニ百餘名ノ争議同職  
ニ對シ會社側ハ自分トノ會見ヲ場ニ居リ最  
早望ニナキニ至レルカ會社ノ大體ノ意向モ職  
工側ノ意中又中間者ヲ通シテ相當諒解セルコ  
トノ思フ故今後争議團實行専負ノ手ニヨリ交  
渉スルモ妥協点ヲ得ルニ尤迫困難ニアラザル

田口龜藏  
争議トノ意見  
不能

争議  
専負  
水道

ベク而カモ尚ホ會社カ飽迄讓歩モザルトキハ  
其上新々ニ運動方法ヲ樹ツルコト、シ夫迄ハ  
各自自重セラレ度シト報告スルトコロアリハ  
日ハ連日ノ疲勞ヲ慰ムル為メ専負以外ハ休養  
スルコト、シ今四時五十分一般ハ解散シ實行  
専負奈良末次郎外三名ハ今夜七時頃小石川區  
水道端ニ立ニ専務取締役笹村吉郎方ヲ訪問  
シテ主人ニ面會ヲ求メリルモ不在、為メ全人  
兼ト面會シ争議團實行専負ト今専務トノ會見  
方ヲ申込ニ諾否ヲ明(八月)朝工場守衛ハ電話ヲ  
リタシト述ベ約十五分間ニテ辭去セリ  
八月ハ前記ノ如ク一般争議同職工ハ各自休養  
シ争議團本部ニハ専負十數名早朝ヨリ集合セ